Marketing Research Service.

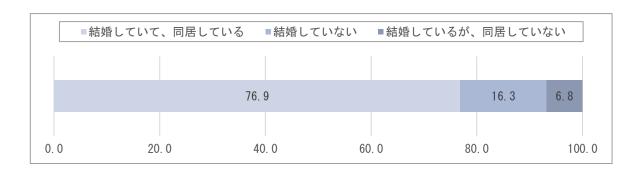
家事分担に関する意識調査

調査内容サマリー

- 調査目的:栃木県民の家事分担に関する認知・関心の把握
- ■調査対象:栃木県在住の20代~40代の男女
- 調査方法:タウン情報サイト「栃ナビ!」を利用した、インターネットアンケート
- 調査期間:2023年12月5日~12月19日
- 回答数 : 498サンプル
 - ※注1 グラフ内の数字は全て百分率で表記
 - ※注2 MA(複数回答が可能な設問)は各項目100%マックスで閲覧
 - ※注3 n=有効な回答数

Q1世帯状況

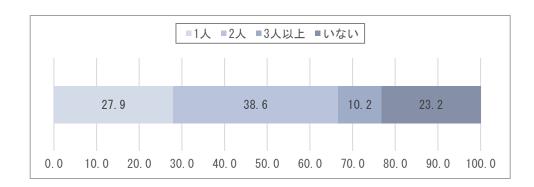
Q1 あなたは現在結婚されていますか?



		度数	結婚していて、同居している	結婚していない	結婚しているが、同居していない
合計		n=498	76.9	16.3	6.8
性別	男性 n=81		84.0	13.6	2.5
	女性	n=417	75.5	16.8	7.7
性別	男性:20代	n=1	100.0	-	-
×	男性:30代	n=13	84.6	15.4	-
年代	男性:40代	n=67	83.6	13.4	3.0
	女性:20代	n=12	66.7	33.3	-
	女性:30代	n=158	78.5	14.6	7.0
	女性:40代	n=247	74.1	17.4	8.5

Q2子の人数

■ あなたの家庭には、高校生以下のお子様が何人いますか?

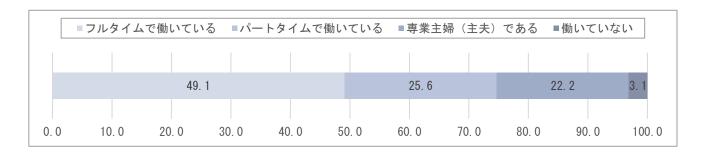


		度数	1人	2人	3人以上	いない
合計	合計		27.9	38.6	10.2	23.2
性別男性		n=68	61.9	42.6	4.4	23.5
	女性	n=315	27.6	37.8	11.4	23.2
性別	男性:20代	n=1	-	-	-	100.0
×	男性:30代	n=11	18.2	36.4	9.1	36.4
年代	男性:40代	n=56	32.1	44.6	3.6	19.6
	女性:20代	n=8	50.0	12.5	1	37.5
	女性:30代	n=124	26.6	43.5	12.9	16.9
	女性:40代	n=183	27.3	35.0	10.9	26.8

1~2人が全体の66.4%

Q3就労形態

あなたは、お仕事をされていますか?

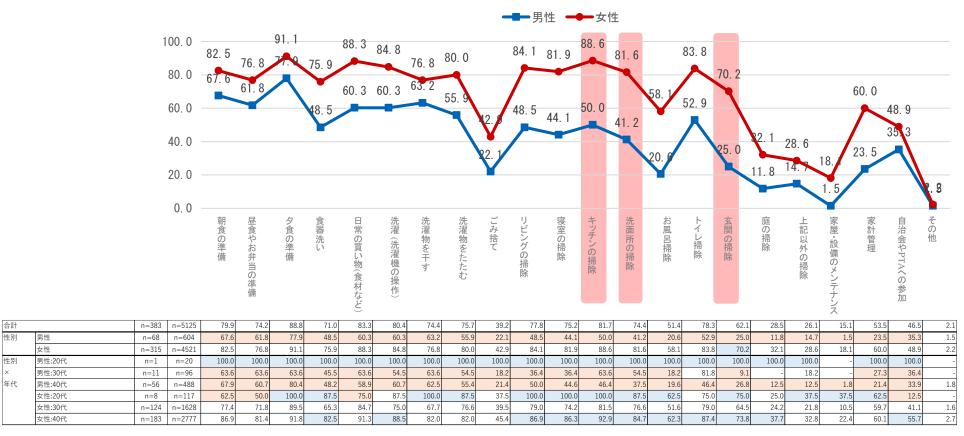


		度数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	専業主婦(主夫)である	働いていない
合計		n=383	49.1	25.6	22.2	3.1
性別	男性	n=68	91.2	1.5	5.9	1.5
	女性	n=315	40.0	30.8	25.7	3.5
性別	男性:20代	n=1	-	-	-	100.0
×	男性:30代	n=11	100.0	-	-	-
年代	男性:40代	n=56	91.1	1.8	7.1	-
	女性:20代	n=8	25.0	12.5	50.0	12.5
	女性:30代	n=124	39.5	28.2	28.2	4.0
	女性:40代	n=183	41.0	33.3	23.0	2.7
Q2.高校	1人	n=107	54.2	19.6	23.4	2.8
生以下の	2人	n=148	45.9	31.8	21.6	0.7
子供の人	3人以上	n=39	33.3	41.0	23.1	2.6
数	いない	n=89	55.1	15.7	21.3	7.9

フルタイムもしくはパートタイムで働いているが全体の74.7%

04女性が行う家事

あなたの家庭で、主に女性が行う家事はどれですか?(複数回答可)



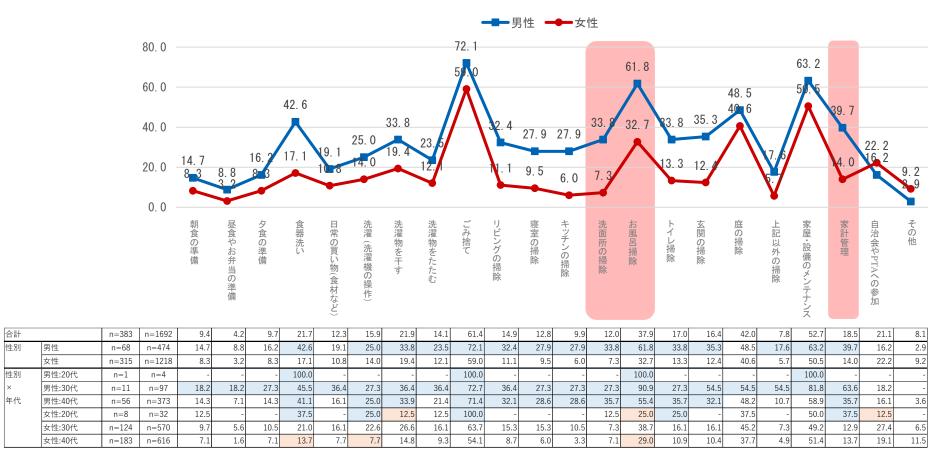
男女間で認識の違いが大きい家事

(女性はやっている意識が強いが、男性は女性がやっているという意識が低い)

1位:玄関の掃除(-45.2) 2位:洗面所の掃除(-40.2) 3位:キッチンの掃除(-38.6)

Q5男性が行う家事

あなたの家庭で、主に男性が行う家事はどれですか?(複数回答可)



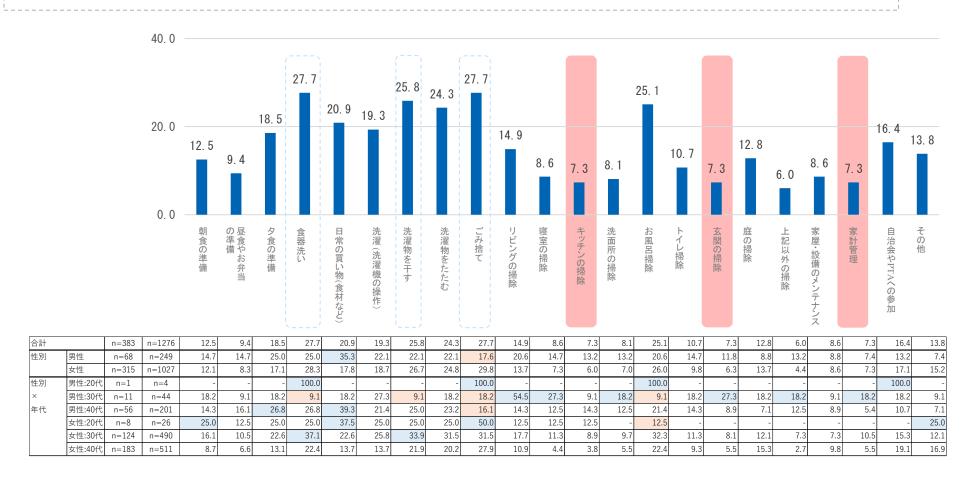
男女間で認識の違いが大きい家事

(男性はやっている意識が強いが、女性は男性がやっているという意識が低い)

1位:お風呂掃除(-29.1) 2位:洗面所の掃除(-26.5) 3位:家計管理(-25.7)

Q6分担している家事

あなたの家庭で、家族で分担して行っている家事はありますか?(複数回答可)



分担している意識の高い家事

- ・食器洗い(27.7)
- ・ごみ捨て(27.7)
- ・洗濯物を干す(25.8)

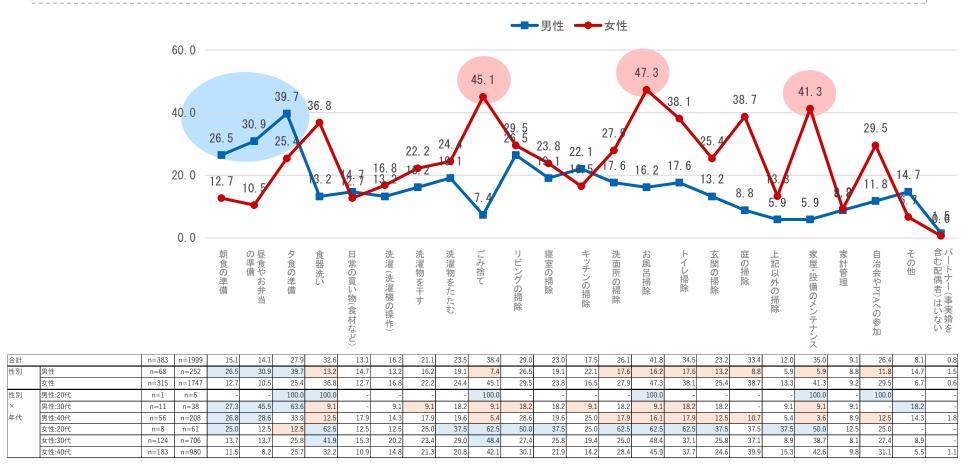


分担している意識の低い家事

- キッチンの掃除(7.3)
- ・玄関の掃除(7.3)
- ・家計の管理(7.3)

Q7パートナーに行ってほしい家事

■ あなたがパートナー(事実婚を含む配偶者)に積極的に行って欲しいと思う家事は何ですか?(複数回答可)



男性が女性に期待する家事

1位:夕食の準備(39.7)

2位:昼食やお弁当の準備(30.9)

3位:朝食の準備(26.5)

女性が男性に期待する家事

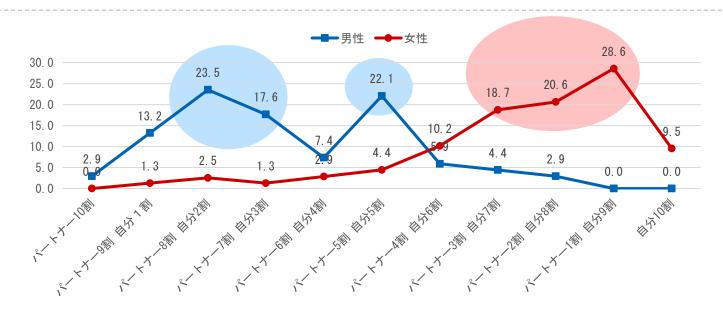
1位:お風呂掃除(47.3)

2位:ごみ捨て(45.1)

3位:家屋・設備のメンテナンス(41.3)

Q8家事負担割合

■ あなたとパートナー(事実婚を含む配偶者)の家事の負担割合はどれくらいだと思いますか?(子どもや同居の親の家事負担は除いて考えて下さい)



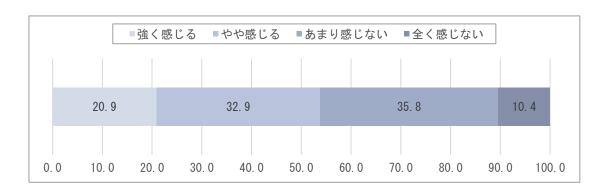
		度数	パートナー10割	パートナー9割 自分1割	パートナー8割 自分2割	パートナー7割 自分3割	パートナー6割 自分4割	パートナー5割 自分5割	パートナー4割 自分6割	パートナー3割 自分7割	パートナー2割 自分8割	パートナー1割 自分9割	自分10割
合計		n=383	0.5	3.4	6.3	4.2	3.7	7.6	9.4	16.2	17.5	23.5	7.8
性別	男性	n=68	2.9	13.2	23.5	17.6	7.4	22.1	5.9	4.4	2.9	-	-
	女性	n=315	-	1.3	2.5	1.3	2.9	4.4	10.2	18.7	20.6	28.6	9.5
性別	男性:20代	n=1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
×	男性:30代	n=11	-	9.1	27.3	-	9.1	45.5	-	-	9.1	-	-
年代	男性:40代	n=56	3.6	14.3	23.2	21.4	7.1	17.9	7.1	3.6	1.8	-	-
	女性:20代	n=8	-	-	-	ı	-	12.5	12.5	12.5	-	37.5	25.0
	女性:30代	n=124	-	0.8	4.0	1.6	4.0	6.5	11.3	25.0	16.9	24.2	5.6
	女性:40代	n=183	-	1.6	1.6	1.1	2.2	2.7	9.3	14.8	24.0	31.1	11.5

女性は、自分:パートナー=7:3、8:2、9:1 の割合が高くなり、男性は、自分:パートナー=2:8、3:7、5:5 の割合が高い。 男性と女性の分担割合を数値から見ると、女性が7割以上分担しているとの回答が77.5%あり。女性の負担が大きいことが分かる。

※■色は全体より8%以上の項目 ■色は全体より8%以下の項目

Q9家事分担についての不公平感

■ あなたは、ご自身の家庭における家事分担について、不公平感を感じていますか?



		度数	強く感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
合計		n=383	20.9	32.9	35.8	10.4
性別	男性	n=68	7.4	23.5	51.5	17.6
	女性	n=315	23.8	34.9	32.4	8.9
性別	男性:20代	n=1	-	-	100.0	-
×	男性:30代	n=11	9.1	27.3	36.4	27.3
年代	男性:40代	n=56	7.1	23.2	53.6	16.1
	女性:20代	n=8	25.0	-	75.0	-
	女性:30代	n=124	16.9	36.3	35.5	11.3
	女性:40代	n=183	28.4	35.5	28.4	7.7

全体としては、強く感じる、やや感じるが53.8%に対して、男女別で見ると男性は30.9%であり 男性の方が不公平感を感じていない傾向が強い。

Q9家事分担についての不公平感

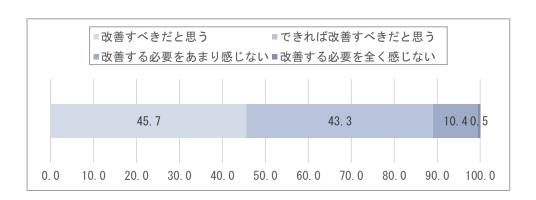
■ あなたは、ご自身の家庭における家事分担について、不公平感を感じていますか?

		度数	強	く感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
合計		n=383		20.9	32.9	35.8	10.4
Q3.就労形態	男性:パートタイムで働いている	n=1		-	-	-	100.0
×	女性:パートタイムで働いている	n=97		28.9	36.1	27.8	7.2
性別	男性:フルタイムで働いている	n=62		6.5	22.6	53.2	17.7
	女性:フルタイムで働いている	n=126		28.6	35.7	27.8	7.9
	男性:専業主婦(主夫)である	n=4		25.0	50.0	25.0	-
	女性:専業主婦(主夫)である	n=81		7.4	35.8	44.4	12.3
	男性:働いていない	n=1		-	-	100.0	-
	女性:働いていない	n=11		45.5	9.1	36.4	9.1

一方、フルタイム・パートタイムで働いている女性の約6割が不公平感を感じている。

Q10女性に偏ると言われる家事の改善意識

■ 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われていることについて、あなたはどのように考えますか?



		度数	改善すべきだと思う	できれば改善すべきだと思う	改善する必要をあまり感じない	改善する必要を全く感じない
合計		n=383	45.7	43.3	10.4	0.5
性別	男性	n=68	30.9	48.5	19.1	1.5
	女性	n=315	48.9	42.2	8.6	0.3
性別	男性:20代	n=1	-	100.0	-	-
×	男性:30代	n=11	45.5	36.4	18.2	-
年代	男性:40代	n=56	28.6	50.0	19.6	1.8
	女性:20代	n=8	37.5	62.5	-	-
	女性:30代	n=124	45.2	46.0	8.1	0.8
	女性:40代	n=183	51.9	38.8	9.3	-
Q3.就労	男性:パートタイムで働いている	n=1	100.0	-	-	-
形態	女性:パートタイムで働いている	n=97	51.5	38.1	10.3	-
×	男性:フルタイムで働いている	n=62	30.6	46.8	21.0	1.6
性別	女性:フルタイムで働いている	n=126	61.1	34.9	4.0	-
	男性:専業主婦(主夫)である	n=4	25.0	75.0	-	-
	女性:専業主婦(主夫)である	n=81	27.2	59.3	12.3	1.2
	男性:働いていない	n=1	-	100.0	-	_
	女性:働いていない	n=11	45.5	36.4	18.2	

Q11女性に偏ると言われる家事の改善意識 自由回答

■ 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われていることについて、あなたはどのように考えますか? に対する自由回答

1.改善すべきだと思う

- ・男女平等(女性が不公平だから)(74件)
- ・社会意識の改善(男性が家事をする世の中に)(31件)
- ・家事は分担すべき(28件)
- ・時代の変化に合わせて(女性の社会進出・共働き)(18件)
- ・男性の意識の問題(12件)
- できる人がやる(家にいる時間が長い人がやる)(9件)
- ・男性も家事ができた方が良い(1人の時に困らなくするため)(8件)
- ・夫婦で協議(7件)
- ・できる人がやる(得手不得手)(5件)
- •不満なし(3件)
- ・その他(21件)

2.できれば改善すべきだと思う

- ·家事は分担すべき(38件)
- ・男女平等(女性が不公平だから)(34件)
- できる人がやる(家にいる時間が長い人がやる)(20件)
- ·できる人がやる(得手不得手)(20件)
- ・時代の変化に合わせて(女性の社会進出・共働き)(16件)
- ·家庭で考え方が違う(12件)
- ・社会意識の改善(男性が家事をする世の中に)(10件)
- ・夫婦で協議(8件)
- ・男性も家事ができた方が良い(1人の時に困らなくするため)(8件)
- •不満なし(5件)
- ・男性の意識の問題(3件)
- •その他(27件)

3.改善する必要をあまり感じない

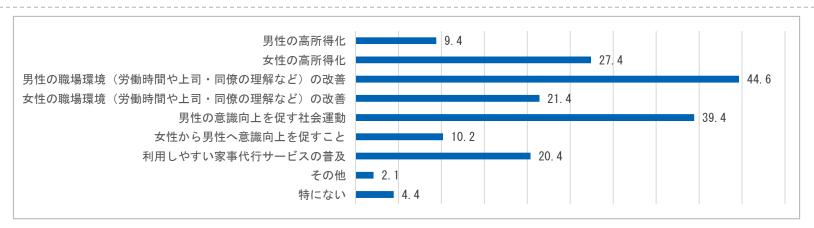
- できる人がやる(得手不得手)(17件)
- ・できる人がやる(家にいる時間が長い人がやる)(9件)
- 家庭で考え方が違う(9件)
- •不満なし(7件)
- ・夫婦で協議(5件)
- ・男性は仕事、女性は家事(性別によって役割が違う)(3件)
- •その他(4件)

4.改善する必要を全く感じない

- ・家庭で考え方が違う(3件)
- できる人がやる(得手不得手)(2件)
- ・その他(2件)

Q12女性に偏る家事の解決案

■ 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われています。これを解決しようとする場合、あなたはどんなことが有効だと思いますか?(複数回答可)



						男性の職場環境	女性の職場環境	男性の意識向上	女性から男性へ	利用しやすい家		
		度数	回答数	男性の高所得化	女性の高所得化	(労働時間や上	(労働時間や上	を促す社会運動	意識向上を促す	事代行サービス	その他	特にない
						司・同僚の理解	司・同僚の理解	で促り仕云座勁	こと	の普及		
合計		n=383	n=687	9.4	27.4	44.6	21.4	39.4	10.2	20.4	2.1	4.4
性別	男性	n=68	n=97	10.3	23.5	38.2	23.5	19.1	7.4	8.8	4.4	7.4
	女性	n=315	n=590	9.2	28.3	46.0	21.0	43.8	10.8	22.9	1.6	3.8
性別	男性:20代	n=1	n=1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
×	男性:30代	n=11	n=17	18.2	27.3	36.4	27.3	27.3	9.1	9.1	-	-
年代	男性:40代	n=56	n=79	8.9	23.2	39.3	21.4	17.9	7.1	8.9	5.4	8.9
	女性:20代	n=8	n=25	37.5	62.5	75.0	50.0	37.5	-	50.0	-	-
	女性:30代	n=124	n=260	11.3	29.0	53.2	23.4	43.5	14.5	29.8	0.8	4.0
	女性:40代	n=183	n=305	6.6	26.2	39.9	18.0	44.3	8.7	16.9	2.2	3.8

全体的には、「男性の職場環境(労働時間や上司・同僚の理解など)の改善」が1位、次いで「男性の意識向上を促す社会運動」となった。 しかしながら、「男性の意識向上を促す社会運動」について、男性側は有効と考えていない。

その他の意見

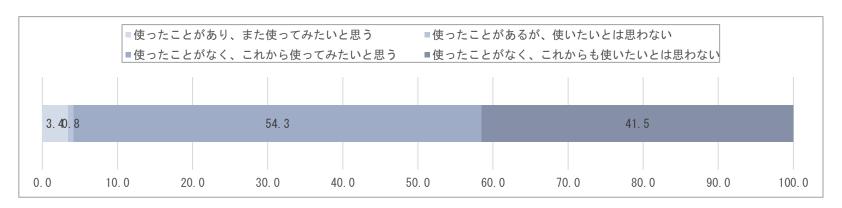
- 夫婦の話し合い。
- 女性の意識向上。
- ・男性から男性に意識向上を促すこと。

- ・性別によらず、勤務労働の従事時間に応じた家事従事をするという意識改革。
- ・子供の頃から学校等で、男性も家事をやるべきだという教育。

※■色は全体より8%以上の項目 ■色は全体より8%以下の項目

Q13家事代行サービスについて

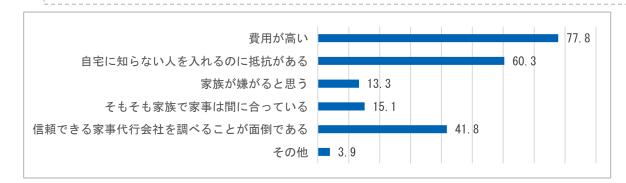
■ あなたは、『家事代行サービス』を使いたいと思いますか?



		度数	使ったことがあり、また使っ てみたいと思う	使ったことがあるが、使いた いとは思わない	使ったことがなく、これから 使ってみたいと思う	使ったことがなく、これから も使いたいとは思わない
合計		n=383	3.4	0.8	54.3	41.5
性別	男性	n=68	8.8	1.5	38.2	51.5
	女性	n=315	2.2	0.6	57.8	39.4
性別	男性:20代	n=1	-	-	-	100.0
×	男性:30代	n=11	-	-	36.4	63.6
年代	男性:40代	n=56	10.7	1.8	39.3	48.2
	女性:20代	n=8	-	-	100.0	-
	女性:30代	n=124	0.8	0.8	60.5	37.9
	女性:40代	n=183	3.3	0.5	54.1	42.1
Q3.就労	パートタイムで働いている	n=98	2.0	1.0	60.2	36.7
形態	フルタイムで働いている	n=188	3.7	-	50.5	45.7
	専業主婦(主夫)である	n=85	4.7	2.4	58.8	34.1
	働いていない	n=12	-	-	33.3	66.7

Q14家事代行サービス 利用障壁

■ あなたが『家事代行サービス』を使いにくいと思う事柄があれば、下記からお選び下さい。(複数回答可)



全体的には、「費用が高い」、次いで「自宅に知らない人を入れるのに抵抗がある」となった。

特に女性の方が男性よりも「費用が高い」ことで利用しずらいと思っている傾向が強い。

		度数	回答数	費用が高い	自宅に知らない人を入 れるのに抵抗がある	家族が嫌がると思う	そもそも家族で家事は 間に合っている	信頼できる家事代行会 社を調べることが面倒 である	その他
合計		n=383	n=813	77.8	60.3	13.3	15.1	41.8	3.9
性別	男性	n=68	n=135	61.8	60.3	19.1	20.6	26.5	10.3
	女性	n=315	n=678	81.3	60.3	12.1	14.0	45.1	2.5
性別	男性:20代	n=1	n=2	100.0	100.0	-	-	-	-
×	男性:30代	n=11	n=26	63.6	63.6	18.2	36.4	36.4	18.2
年代	男性:40代	n=56	n=107	60.7	58.9	19.6	17.9	25.0	8.9
	女性:20代	n=8	n=17	87.5	50.0	25.0	-	50.0	-
	女性:30代	n=124	n=262	83.1	50.8	12.9	12.1	49.2	3.2
	女性:40代	n=183	n=399	79.8	67.2	10.9	15.8	42.1	2.2
Q3.就労	パートタイムで働いている	n=98	n=225	87.8	62.2	16.3	12.2	46.9	4.1
形態	フルタイムで働いている	n=188	n=388	73.9	62.8	12.8	14.4	37.2	5.3
	専業主婦(主夫)である	n=85	n=174	75.3	51.8	9.4	20.0	47.1	1.2
	働いていない	n=12	n=26	75.0	66.7	25.0	16.7	33.3	-

その他の意見

- ・費用対効果が良ければ使う。
- 詳細を知らないから。
- ・家族で家事をシェアすれば間に合うと思う。
- やり方が気に入らなくてやり直してしまうかも。
- ・タイミングが合わない。

- ・専業主婦である妻に対して、これでは不十分と言っているように捉えられると失礼に当たるから。
- ・近くでサービスを提供しているところ(会社、お店)があまりない。少ない。
- ・家事というみんな自分でやっていることに費用を出して外注することに負い目を感じる。

※ ■色は全体より8%以上の項目 ■色は全体より8%以下の項目

まとめ

今回の調査は、20代から40代の栃木県民を対象にしたWEB調査での回答 498件の回答から、結婚し、かつ同居している男女 383件に対し、データを集計した。 子がいる世帯は全体の7割強を占めており、就労している(専業主婦(夫)でない)割合は、約7割となっている。

【Q4】女性が行う家事について

男女間で認識の違いが大きい家事(女性はやっている意識が強いが、男性は女性がやっているという意識が低い家事)の上位は、「玄関の掃除(-45.2)」「洗面所の掃除(-40.2)」「キッチンの掃除(-38.6)」となった。

【Q5】男性が行う家事について

男女間で認識の違いが大きい家事(男性はやっている意識が強いが、女性は男性がやっているという意識が低い家事)の上位は、「お風呂掃除(-29.1)」「洗面所の掃除(-26.5)」「家計管理(-25.7)」となった。

【Q6】分担している家事

「食器洗い(27.7)」「ごみ捨て(27.7)」「洗濯物を干す(25.8)」が上位に対し、掃除系の家事は総じて分担率が低い。

「毎日やらなければならない」家事は、必然的に1日の生活リズムで役割分担の意識が形成されやすく、掃除などの定期的に行う家事は明確な分担意識が形成しにくい可能性がある。

【Q7】パートナーに行ってほしい家事

男性が女性に期待する家事は、「朝食の準備(26.5)」「昼食やお弁当の準備(30.9)」「夕食の準備(39.7)」など食事系の家事が上位を占めた。 女性が男性に期待する家事は、「お風呂掃除(47.3)」「ごみ捨て(45.1)」「家屋・設備のメンテナンス(41.3)」となった。

【Q8】家事負担割合

おおよそ、男性:女性 = 2:8 の意識が多い結果になったが、女性では自分:パートナー = 9:1 の割合がもっとも高く、一方で男性は、自分:パートナー = 5: 5 の割合も上位なので、男女間で負担割合の意識に乖離が見受けられる。

【Q9】家事分担についての不公平感

全体的に男性は不公平感を感じていない割合が高い一方で、フルタイム・パートタイムで働いている女性の約6割は不公平感を感じている。

【Q10】家事の改善意識

9割が改善した方が良いという結果になった。特にフルタイムで働いている女性は高いが、フルタイムで働く男性は、改善する必要を感じていない割合が高く、 男女の改善意識に差が出ている。

まとめ2

【Q11】Q10の自由回答

改善するべきと回答した女性の意見は、女性の家事負担が大きいことに対する不満が多かった。また就労している女性は特に負担が大きくなるとい う意見もあった。一方で、家庭によって違うといった現状「しかたがない」といった意見もあった。

改善すべきと回答した男性の意見は、男女平等や女性も働く時代といった意見や、できる人がやるといった意見があった。

改善する必要を感じないと回答した男女の意見は、家庭によるといった意見や、特に女性は自分の思うように家事をやりたいといった意見もあった。

【012】女性に偏る家事の解決案

全体的には、「男性の職場環境(労働時間や上司・同僚の理解など)の改善」が1位、次いで「男性の意識向上を促す社会運動」となった。

一方で「男性の意識向上を促す社会運動」について、男性自身は重要と捉えていない傾向があった。

また、「利用しやすい家事代行の普及」については、男性では消極的な印象が見受けられた。

【Q13】家事代行サービスについて

9割以上が利用したことがないと回答している。特に男性は「これからも使いたいとは思わない」の割合が半数を占めている。一方で女性は6割弱が 「これから使ってみたい」と前向きな回答を示した。家事代行サービス利用においても、男女間の意識の差が表れている。

【Q14】家事代行サービス 利用障壁

全体的には、「費用が高い」、次いで「自宅に知らない人を入れるのに抵抗がある」となった。

特に女性の方が男性よりも「費用が高い」ことで利用しずらいと思っている傾向が強い。男性は「そもそも家族で家事は間に合っている」との意識 が強く、その点が家事代行サービスを利用するに至らない理由の可能性がある。

本調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡願います。

ヤマゼンコミュニケイションズ株式会社

栃木ナビゲーションネットワーク 栃木県宇都宮市インターパーク4-3-1 (ヤマゼンコミュニケイションズ株式会社内)

T E L. 028-648-1111 F A X. 028-656-4501